

平成 28 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 11 月 4 日

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
 コード番号 4847 URL <http://www.iwi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部担当 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 6 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 6 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 6 月期第 1 四半期	1,331	△6.7	34	△63.6	40	△55.8	33	△44.5
27 年 6 月期第 1 四半期	1,426	11.5	94	—	91	—	60	—

(注) 包括利益 28 年 6 月期第 1 四半期 △4 百万円 (—) 27 年 6 月期第 1 四半期 84 百万円 (—)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 6 月期第 1 四半期	1.28	—
27 年 6 月期第 1 四半期	2.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 6 月期第 1 四半期	6,136	4,698	76.6
27 年 6 月期	6,481	4,834	74.6

(参考) 自己資本 28 年 6 月期第 1 四半期 4,698 百万円 27 年 6 月期 4,834 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 6 月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28 年 6 月期	—	—	—	—	—
28 年 6 月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 27 年 6 月期の連結業績予想 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	2,900	2.0	100	△45.4	100	△45.4	65	△73.5	2.47
通 期	6,500	5.5	540	11.6	540	10.2	350	△25.7	13.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年6月期1Q	26,340,000株	27年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	—株	27年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年6月期1Q	26,340,000株	27年6月期1Q	26,340,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済情勢は、新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復を続けているといわれており、企業の設備投資は、収益の改善を受けて緩やかな増加を続けています。

企業の業況感的良好な水準を維持していることから、今後も設備投資は増加へと推移していくものとみられています。

好調な国内経済情勢を背景にして、当社の主要な事業領域である金融業界、クレジットカード業界においても新規の設備投資案件に係る商談は堅調に推移しています。また、政府機関や企業に対する国内外からのサイバー攻撃の件数が著しく増加するなか、サイバーセキュリティ対策の商談も堅調に推移しており、当社は、積極的な事業活動に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は、1,331百万円(前年同四半期比6.7%減)となり、営業利益34百万円(前年同四半期比63.6%減)、経常利益40百万円(前年同四半期比55.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円(前年同四半期比44.5%減)を計上しました。

クレジットカードや銀行、証券会社といった金融業界の企業を主な顧客とする金融システムソリューション事業において、ハードウェアの売上高が前年同四半期を178百万円下回ったため、売上高は、前年同四半期実績1,356百万円に比べて211百万円減少しました。

当社は、システム開発やシステムの更新に併せてサーバー等のハードウェアを販売しており、案件の規模や内容によってハードウェアの売上高が変わります。また、クレジットカード、銀行等の金融業界向けの当社製パッケージソフトウェアの販売もシステム開発の規模や内容によって実績が変わります。

当期は、ハードウェア販売と同様、当社製パッケージソフトウェアの売上高も前年同四半期より51百万円下回り、これらの減収を主な要因として、営業利益は、前年同四半期比で142百万円減少しました。

その反面、サイバーセキュリティ対策の製品を取扱うプロダクトソリューション事業においては、当社製、他社製のパッケージソフトウェアの販売が順調に推移し、売上高は、前年同四半期実績70百万円を上回る186百万円となりました。

金融システムソリューション事業においては、主に既存顧客を中心に、システム更新や新規投資の商談を引き続き積極的に進めています。また、プロダクトソリューション事業においては、サイバーセキュリティ対策についての商談が活発化、見込み顧客の件数も増加しているため、平成27年8月5日付け平成27年6月期 決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

(金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、クレジットカード、銀行、証券等の金融業界の顧客に対して、ソフトウェア開発や保守、パッケージソフトウェア及びハードウェアの販売による売上を計上しました。売上高は、1,144百万円(前年同四半期比15.6%減)、営業利益は24百万円(前年同四半期比85.6%減)となりました。

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、企業組織内部からの情報漏えいを防ぐ当社製パッケージソフトウェアと、外部からのサイバー攻撃を防ぐ他社製パッケージソフトウェアの販売等によって、売上高は、186百万円(前年同四半期比165.8%増)、営業利益は10百万円(前年同四半期は72百万円の営業損失)となりました。

当社製内部情報漏えい対策システムCWAT(シーワット)や、標的型攻撃等のサイバー攻撃を防ぐパロアルトネットワークス社の製品Traps(トラップス)、アプリケーションプログラムのソースコードに潜む脆弱性を検知し、サイバー攻撃に備えるCheckmarx(チェックマークス)社製のCxSuite(シーエックススイート)の販売や製品の保守サービスを行いました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ345百万円減少し、6,136百万円となりました。うち流動資産は、前連結会計年度末に比べ400百万円減少し、4,159百万円となりました。これは主に、たな卸資産100百万円の増加がありましたが、未収入金374百万円の減少があったためです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、1,976百万円となりました。これ

は主に、投資有価証券 55 百万円の減少がありました。長期定期預金 100 百万円の増加があったためです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 209 百万円減少し、1,437 百万円となりました。これは主に、賞与引当金 72 百万円の増加がありました。未払消費税等 84 百万円の減少、支払手形及び買掛金 59 百万円の減少があったためです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ 135 百万円減少し、4,698 百万円となりました。これは主に、利益剰余金 98 百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 27 年 8 月 5 日付「平成 27 年 6 月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第 21 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 22 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第 7 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第 58-2 項(4)、連結会計基準第 44-5 項(4)及び事業分離等会計基準第 57-4 項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,957,248	2,953,119
受取手形及び売掛金	880,859	742,126
たな卸資産	133,003	233,759
その他	589,371	230,601
流動資産合計	4,560,483	4,159,606
固定資産		
有形固定資産	277,465	282,786
無形固定資産	285,225	278,435
投資その他の資産		
投資有価証券	924,411	869,032
その他	522,778	635,384
貸倒引当金	△88,649	△88,649
投資その他の資産合計	1,358,540	1,415,766
固定資産合計	1,921,231	1,976,987
資産合計	6,481,714	6,136,594
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,124	261,656
未払法人税等	40,737	7,912
賞与引当金	212,573	285,025
役員賞与引当金	17,120	2,585
その他	558,380	412,564
流動負債合計	1,149,936	969,744
固定負債		
役員退職慰労引当金	25,422	11,360
退職給付に係る負債	407,328	396,543
資産除去債務	43,434	43,599
その他	20,935	16,414
固定負債合計	497,121	467,918
負債合計	1,647,057	1,437,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	559,622	559,622
利益剰余金	3,159,800	3,061,694
株主資本合計	4,563,172	4,465,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,349	244,828
為替換算調整勘定	△10,865	△10,964
その他の包括利益累計額合計	271,484	233,864
純資産合計	4,834,657	4,698,931
負債純資産合計	6,481,714	6,136,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 7 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 7 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
売上高	1,426,427	1,331,157
売上原価	1,034,213	999,479
売上総利益	392,214	331,677
販売費及び一般管理費	297,557	297,211
営業利益	94,656	34,466
営業外収益		
受取利息	1,966	351
受取配当金	0	—
為替差益	617	8,029
その他	928	855
営業外収益合計	3,512	9,236
営業外費用		
支払利息	—	220
持分法による投資損失	5,078	1,802
コミットメントフィー	1,260	1,060
その他	0	10
営業外費用合計	6,339	3,094
経常利益	91,830	40,607
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	99	—
特別損失合計	99	—
税金等調整前四半期純利益	91,730	40,607
法人税、住民税及び事業税	11,218	4,353
法人税等調整額	19,966	2,660
法人税等合計	31,184	7,013
四半期純利益	60,546	33,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,546	33,593

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	60,546	33,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,404	△37,520
為替換算調整勘定	1,527	△98
その他の包括利益合計	23,932	△37,619
四半期包括利益	84,478	△4,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,478	△4,025
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,356,222	70,205	1,426,427	1,426,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,356,222	70,205	1,426,427	1,426,427
セグメント利益又は損失(△)	166,910	△72,254	94,656	94,656

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,144,536	186,621	1,331,157	1,331,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,144,536	186,621	1,331,157	1,331,157
セグメント利益	24,037	10,428	34,466	34,466

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成27年7月1日付組織再編に伴い、合理的なセグメント区分を検討した結果、前会計年度末まで「プロダクトソリューション事業」に区分されていた当社製パッケージソフトウェア Face コンシェルに係る売上高と費用は、当第1四半期会計期間より、「金融システムソリューション事業」に区分することといたしました。

これに併せて、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を変更後の区分方法により作成し、記載しています。